

独立行政法人 森林総合研究所

文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成事業

(平成19～21年度)



振興調整費

「応援します！家族責任を持つ女性研究者」

エンカレッジモデル

男女共同参画室

金指 あや子

独立行政法人 森林総合研究所の女性研究者

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

職員数… 1,264名
うち研究職員 469名
うち女性研究職員 49名
10.4%

本支所等…

本所 (つくば市)
支所・科学園 全国 6地域
育種センター、育種場 全国 5地域



① 転勤と出張



森林総合研究所の女性研究職員

女性研究職員 **10.4 %**

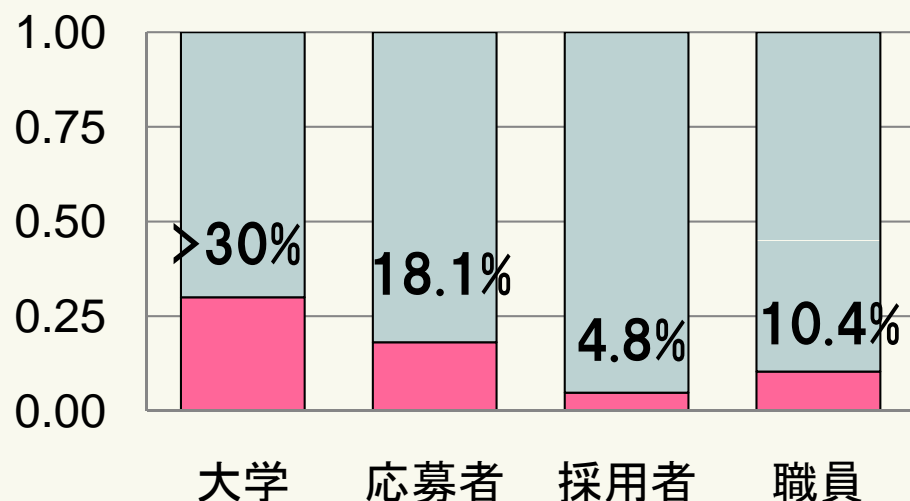
管理職 **1.6 %**

室長等 **2.9 %**

研究職女性の7割：
40代前半以下

②若い年代層

森林科学系大学と森林総研にかかわ
る女性比率（H16-20 平均）



③応募・採用の壁

①転勤と出張

②出産・育児年代

③応募・採用の壁



振興調整費

エンカレッジモデル

「応援します！

家族責任を持つ女性研究者」



実施内容

①推進体制の整備

②育児・介護のサポートシステム整備

③IT環境の整備

④次世代研究者育成支援

①推進体制の整備

・・・組織体制および両立支援勤務制度・休暇制度の整備

(1) 組織体制の整備

・推進本部の設置

- 推進委員会、推進室、各種作業部会
- 推進本部アドバイザー: 原 誠 (お茶の水女子大学)

・男女共同参画室の設置

- 室長(本務)、室員2名(研究員、事務員)



(2) 両立支援に関わる各種制度の整備

・休暇・勤務制度の改善

(育児短時間勤務07 Oct.～、子の介護に関わる休暇09 Jan～)

・裁量労働制の導入 (09 Jul.～)

・HPの開設とQ & Aによる周知 (07 Aug.～)

<http://enc.fpri.ac.jp/>

・両立支援ガイドブックの発行 (09 Nov.～)



②育児・介護のサポートシステム整備



(1) 保育サポート

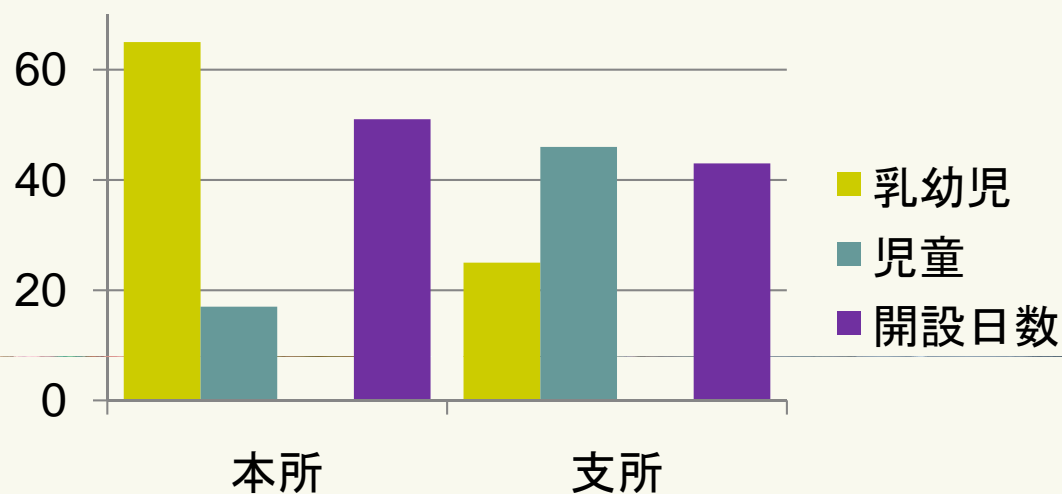
一時預り保育室の開設（本所、関西支所の2カ所、09 Mar.～）

ベビーシッター支援制度（各支所等 10 Jan. ～）

地域の育児・介護情報の収集・提供（HPにて、08 Feb.～）



利用実績(09.3～10)



②育児・介護のサポートシステム整備

(2) 研究支援

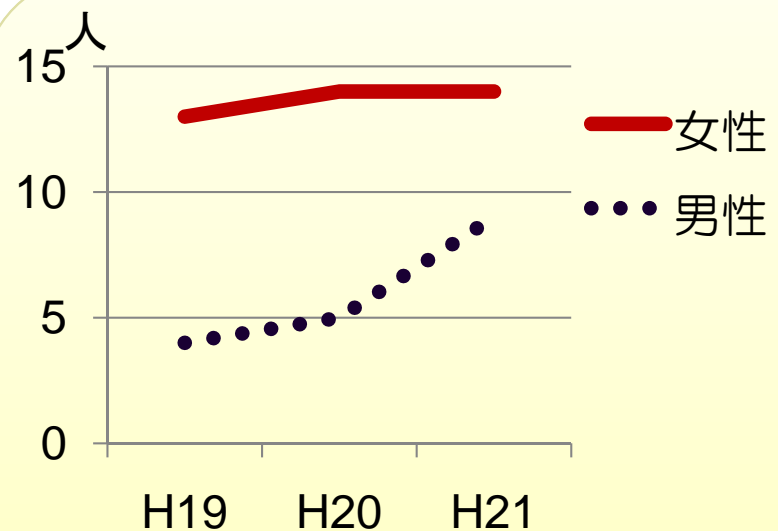
- ・研究用PC, ソフトウェアの貸与、
研究補助員の雇用(07 Dec.~)
- ・育児・介護休業中研究者への
文献検索・複写サービスの開始
(08 Feb.~)



★インフルエンザの子供の看護中でも論文審査に対応できた。

★育休中でも研究との接点を持ち続けることができた。

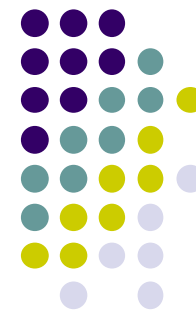
★所として応援する姿勢を示してくれたことが大きい



研究支援利用者数

③IT環境の整備

・・・出張を減らす、情報の共有(情報格差の是正)



- テレビ会議システムの導入
- Webミーティングシステムの導入

★ 計131回

★開催地以外の女性の参加
のべ320名(07.10～09.3)

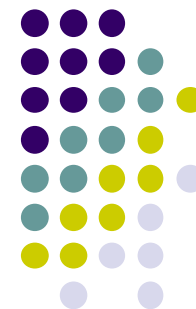


▲本所と育種センターを結んだTV会議

▼ Webミーティングシステムを利用した業務報告会



④次世代研究者育成支援



・採用時、 「家族責任による研究中断のある研究者」へ配慮

応募要領に

「男女共同参画の推進と次世代育成」の姿勢を明記（H20公募～）

新規採用者数

	男性	女性	計
H19	0	0	0
H20	2	0	2
H21	5

H22.1.1採用

★ 応募者の女性比:37.5%

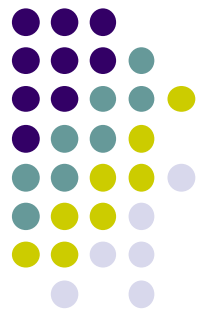
★採用者の女性比 : ?!

・男女共同参画意識の啓発活動

職員意識調査・職員研修（新規採用者、中堅研究職）

所内セミナー、シンポジウムの開催

④次世代研究者育成支援



・男女共同参画意識の啓発活動

職員意識調査・職員研修（新規採用者、中堅研究職）

所内セミナー、シンポジウムの開催、各種シンポジウムへの参加

つくば6研究機関男女共同参画合同シンポジウム
好奇心が開く
つくば発 共同参画文化の扉



つくば6研究教育機関による 男女共同参画宣言

私たち、つくばに拠点を持つ6研究教育機関は、科学技術を通じて社会に貢献することを責務としています。我が国は科学技術分野において女性の参画が遅れており、研究者に占める女性の割合は、欧米の先進諸国と比べて2分の1から3分の1と低いのが現状です。

私たちは、男女共同参画社会の実現にむけて、性別に関わらず多様な人材が活躍できる研究環境を整え、これまで以上に研究活動を活性化させることを目指します。同時に、女性研究者の採用を増加させ、科学技術分野への女性の参画を加速させます。

研究機関が集積しているつくば市をはじめ茨城県において、私たちは、関連する大学、研究機関、団体、産業界および市民との連携を強めることにより、多様性に基盤を置いたグローバルな研究教育機関として発展し、様々な研究成果を世界に発信するよう努めます。

2009年9月8日

物質・材料研究機構理事長

森林総合研究所理事長

産業技術総合研究所理事長

筑波大学長

農業・食品産業技術総合研究機構理事長

農業環境技術研究所理事長

潮田 資勝

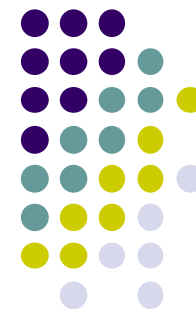
鈴木 和夫

野間口 有

小口 信博

堀江 武

佐藤 洋平



★ネットワークの
進展

2009.9.8

つくば6研究教育機関による
男女共同参画宣言

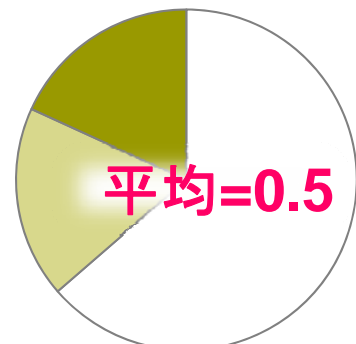
森林総合研究所の女性職員



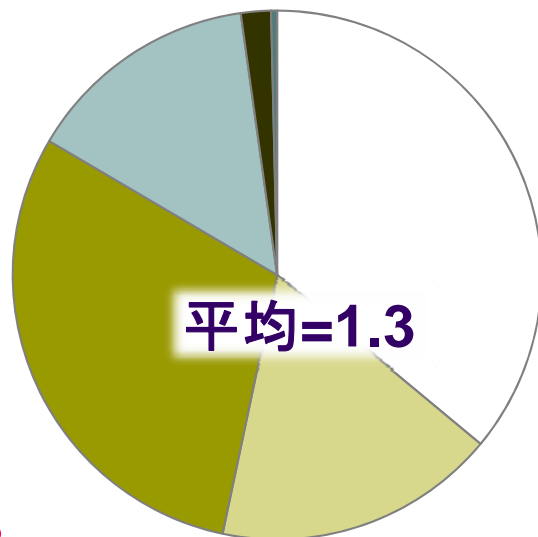
子の数 (子の数0には
単身者を含む)



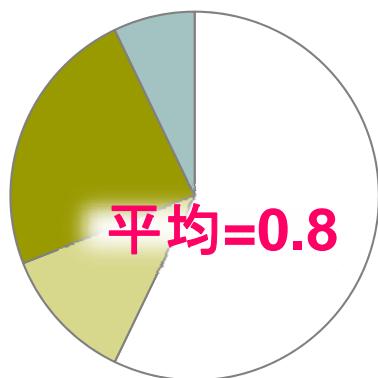
★事業期間中に…
2名の女性研究者
3人目を出産



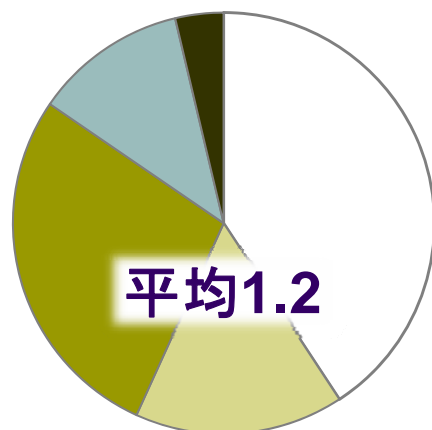
研究職女性 n=33



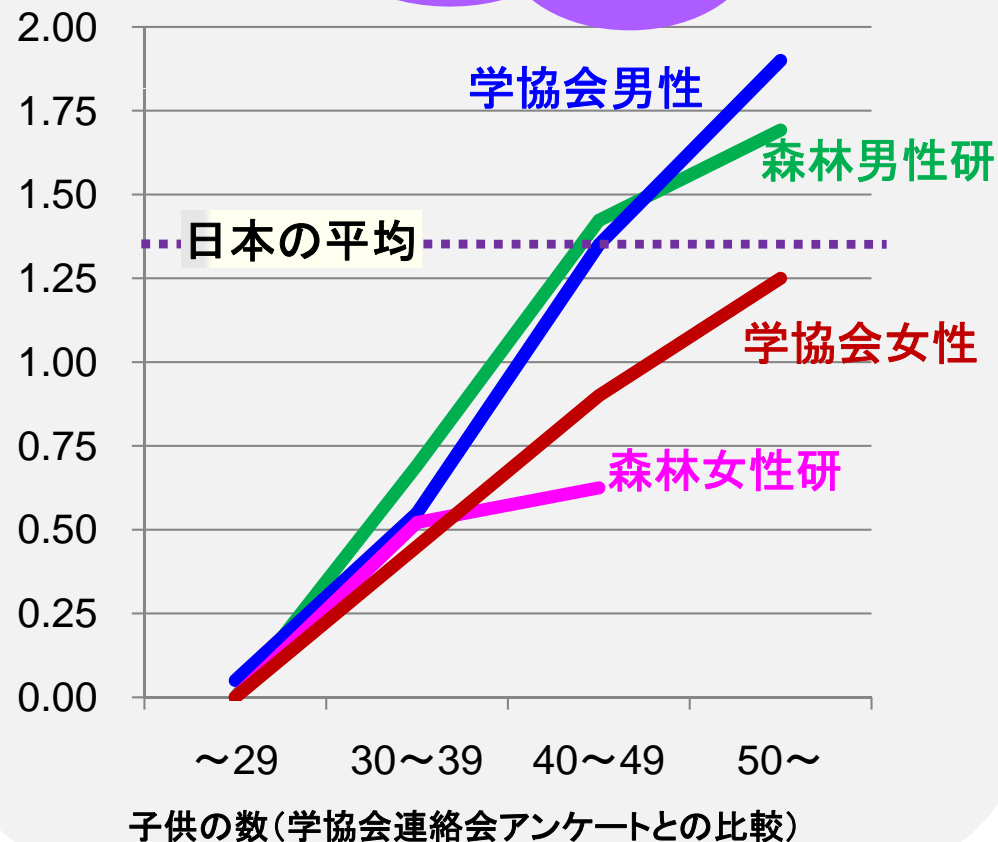
研究職男性 n=272



一般職女性 n=42



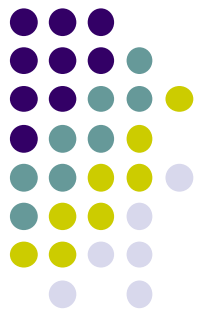
一般職男性 n=162



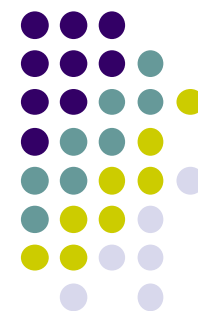
職種別男女別職員の子供の数

(アンケート結果Oct. 07)

ミッションステートメント



1. 裁量労働制の採用（研究職員）
2. 育児・介護のサポート体制整備（本支所等）
3. IT環境の整備（本一支所等間、研究所一自宅間）
4. 応募者・採用者の女性比率を30%に
（関連大学の女子学生比率と同等に）
5. 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



女性研究者 魅力あふれる研究所

